

令和5年度 第13回 熊谷市総合戦略有識者会議議事録	
日時・会場	令和5年7月5日（水）10:00～ 熊谷市役所議会棟 2階 第1委員会室
出席者	別紙「出席者名簿」のとおり
次第	1. 開会 2. 議事 (1) 熊谷市の現状と総合戦略の取組状況について (資料1-1・1-2・2-1・2-2・3) (2) 本年度の取組について (資料4) (3) デジタル田園都市国家構想総合戦略について (資料5) 3. 閉会
資料	【資料1-1】 第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画掲載の将来推計人口 【資料1-2】 第2期熊谷市人口ビジョン・総合戦略策定時の将来推計人口 【資料2-1】 第2期総合戦略の基本目標別のKPI 【資料2-2】 転入・定住促進施策の取組状況 【資料3】 地域再生計画の成果について 【資料4】 令和5年度の取組について 【資料5】 デジタル田園都市国家構想総合戦略の概要
議事録	
委員	(1) 熊谷市の現状と総合戦略の取組状況 (2) 本年度の取組について ・事務局より資料に基づいて説明。 ・意見・質問は以下の通り。 (1) 熊谷市の現状と総合戦略の取組状況について 資料2-1についてKPIが示されているが、基本目標1については重点的な施策としてうまくいっている部分もあるかと思う。自身の考えとしても仕事があるところに人が集まると思う。そこで、熊谷市全体として就業機会が増えたというような数字を追いかけていたりしているのか。そういうものがあれば、一目で就業機会に繋がっているとわかるのではないかと思う。
事務局	資料に掲載しているのは、市が補助等を行い把握している数字にとどまる。
委員長	御意見を参考に、一目で表現できるのか研究してみたいと思う。
委員	人口動態の部分で出生数が年々減っている。周産期医療の充実については医師会が関わることなので難しい部分もあるが、行政としての考えは。 また、社会動態の推移が若干増えているとのことだが、行政の取り組みがうまく

事務局	<p>いっているように聞こえる部分もある。熊谷市の場合、自衛隊の教育隊であることから一年間を通して転入転出の動きが大きい、これについてはどのように認識しているか。</p> <p>市民アンケートでも重要施策としての意見が多い。高度医療や第三次救急の話があるが、熊谷では第二次救急が複数あり、それらの連携に加え、太田、深谷、行田や羽生との連携での対応に努めている。周産期医療については、ソフト面として不妊・不育についての支援を行っているのが現状である。また、議会でも少子化や出生率については話題になっているところである。</p> <p>熊谷市の場合、自衛隊の異動に伴い4月1日は人口減少となる。熊谷市の場合は教育隊であり、3月末で各基地に異動する。4月に異動が増え、5月に持ち直すという形になっている。こうしたことから、自衛隊の異動が熊谷市の社会動態に大きく影響していることは把握している。</p>
委員	<p>常に社会動態を見るときに、自衛隊は2千人から2千5百人の変化があるため、行政はそのことを理解したうえで、それ以外の社会動態を押さえておかないと議論にならないと考える。関係部署はそういった数字も持っていなければならないと思う。</p> <p>医師会のこともあるので難しいが、先ほどの説明では、小さな子供が太田市の病院まで運ばれる状況に頼らざるを得ないというのが熊谷市の現状であると思う。補助金の充実も理解したが、子育てをする上では、それ以前の医療体制を充実させることが重要であり、きちんと認識する必要があると考える。</p>
委員長	<p>周産期医療について早期対応は困難だが、遠隔で妊婦の診断をできるような機器の導入に係る補助を出している。根本的な課題については、医師会とも協議を行っていきたいと思う。</p> <p>教育隊という宿命もあり、毎年何百人という単位で変動がある。自衛隊組織の増強等による人員増加については、御指摘のとおり把握に努めたい。</p>
委員	<p>子育てに関する「2-1住み続けたい」と「3-2子育てしやすい」のポイント減について、どのような危機意識を持っているか。</p>
事務局	<p>2-1については要素の部分で、医療、交通、ごみなどのことがある。利便性を上げていくため、年度ごとに事業の見直しを行いながらやっている。重要な課題と捉えており、スマートシティなど新たな取り組みも含めて、ひとつひとつやっていきたい。</p> <p>合計特殊出生率は県内の真ん中あたりであるが、昨年度よりも減少し1,030人という数字が出ている以上、子どもを産みやすい環境、子育てしやすい環境、子どもが夢を持って住み続けたいと思える環境の整備について、しっかりとやっていきたい。</p>

委員	<p>ごみの回収の頻度やペットボトルが月1回しか回収されないなど、市民にとってネガティブな要素があるからこそこうした数字として表れるのだと思う。市民にとってプラスのことを発案することも良いが、果たして市民のニーズなのか。市民にとってのネガティブな要素をつぶしていく方が、こうした数字を上げるためには早いのではないかと思う。トップダウンの施策だけでなく、市民の声を吸いあげるボトムアップの施策に取り組んでいただければと思う。</p>
委員	<p>出生率は下がっているが、生まれていないわけではない。子育てするなら熊谷市というキャッチフレーズで現場はやっているが、これが浸透していない部分はある。深谷の第一子から保育料無償化というのはキャッチーであるが、それに負けない子育ての取組が必要であると我々の現場は考えている。</p> <p>熊谷市は3歳児と1歳児と乳児について、集団検診から個別健診に移行し、かかりつけ医を持ちましょうという取り組みを進めている。熊谷市は小児科が多くあるので、かかりつけ医の専門性を高めていくための指導等をお願いしたい。小児科の専門性を高めることで、市外の大きな病院に行かずとも、アレルギー喘息や発達障害などに対応できるものとする。こうした部分で子育て支援が更に充実するものとする。</p> <p>また、外国籍の方のお子さんの利用も増えており、保育園申請時の言葉の壁や住居の問題が生じている。さらに住居の更新ができないという問題も生じている。</p> <p>外国籍の方へのサポートについて、どのように考えるか。</p>
事務局	<p>言語については、窓口業務の課題と捉えていることから、今年度保育課で対応を検討している。</p> <p>結婚した時に住居の支援を国が行っており、熊谷市も対象市となっているが、その後の更新等、継続して支援という制度はない。</p>
委員	<p>日本人に対してもない支援であり、外国の方だけに支援というのも難しいのは分かるが、外国の方ならではの困りごとの側面もあり、何か手を差し伸べる術はないかという思いがあり発言させてもらった。</p>
委員	<p>農業支援について。市内の状況を確認してみたが、一年中水が流れている今井地内の排水路にジャンボタニシが繁殖している。念のため他の排水路を確認したところ、繁殖が見られなかった。つまり、ここのジャンボタニシを駆除すれば市内への拡大が防げるのではないか。昨年度駆除試験を実施したというのを見たことがあるが、結論として、今後の方向性までは示されていなかったように思う。</p>
委員	<p>私は病虫害防除協議会の会長も務めている。</p> <p>今井地域だけにとどまらず奈良から中条に拡大傾向にある。忌避剤により何とか食い止めたいという思いであり、忌避剤についても一部助成も実施している。</p>

委員	<p>籠原駅保育ステーションの金額が1日1,000円と高額である。</p> <p>指定された園だけでなく、中心市街地以外の園も利用できるよう拡大してもらえると、保留児童も減るのではないか。</p>
事務局	<p>熊谷駅の保育ステーションについては、現在事業者が決まったところである。開設時期については、その事業者と相談しながら今後決定する予定。利用料についても今後、交渉と調整していく。</p>
委員	<p>生まれも現在の勤め先も東京だが、熊谷は総じて住みやすいと考えているが、認知度が低い。DXの推進がキーワードだと考えている。企業でも自治体でもトップが本気で取り組んでいるところであまりいいところもある。</p>
事務局	<p>スマートシティ宣言もしたところ。避けては通れない。</p> <p>今年度は、シティプロモーションとして、市民には熊谷市に誇りを持ってもらい、市外の方には熊谷市を知ってもらえるよう戦略的に進めていく。</p>
委員長	<p>色々な意見をいただいたが、説明した内容で御理解いただきたい。</p> <p>続いて、デジタル田園都市国家構想総合戦略について事務局から説明を。</p> <p>(3) デジタル田園都市国家構想総合戦略について</p> <p>事務局より資料5について説明。</p>
委員	<p>スマートシティに係る取組について、市民は捉えられていない部分が多いように思う。熊谷市が掲げるスマートシティのビジョンについてどこに問い合わせればよいか。</p>
事務局	<p>スマートシティについては政策調査課など、各事業の専門部署はあるが、企画課に御連絡いただければ、所管課に確認をしながら対応させていただく。</p>
委員	<p>国の計画も名前は変わったが、基本的には路線は変わらない。市の総合戦略についても来年辺りからくみ上げていくことになると思うが、失敗したものをリセットし、しっかり反省して今後に活かしてもらいたい。</p> <p>また、今回多く出た子育ての部分で例示すれば、子育て拠点施設と県の児童相談所の場所は逆にするのが相当。県と市の連携をしっかりとお願いしたい。</p>
以上	